

# 特定指導法人の見直し基本方針(改定)の進捗状況(概要版)

全体の進捗状況としては、概ね順調に推移



## ◆取組項目毎の達成状況◆

全取組項目数：87項目

うち、見直しの目的達成(◎)：20項目

見直し方針通り順調に推移(○)：53項目

継続検討等(△)：13項目 判定保留(ー)：1項目

### 【見直し項目種類別内訳】

組織の統廃合、組織のあり方

◎:9項目 ○:4項目 △:7項目 ー:1項目

事業見直し、事務効率化

◎:9項目 ○:22項目 △:4項目

組織・人員のスリム化

◎:2項目 ○:8項目

収入確保等、組織の基盤強化

○:19項目 △:2項目

## 主な実績

### 組織の統廃合、組織のあり方

#### ① 3 公社の管理部門の統合

⇒ 3 公社（栃木県土地開発公社、栃木県道路公社、栃木県住宅供給公社）の管理業務を統合（24年4月1日）

#### ②（財）とちぎ生涯学習文化財団と（財）とちぎ青少年こども財団の再編

⇒（財）とちぎ未来づくり財団として再編（23年4月1日）

#### ③（社）栃木県治山林道協会、（社）栃木県緑化推進委員会、（財）栃木県森林整備公社の再編

⇒森林整備公社の林道労働力確保支援センター業務を治山林道協会へ移管（23年4月1日）

⇒治山林道協会と緑化推進委員会が合併し、（社）とちぎ環境・みどり推進機構が発足（23年12月1日）

### 事業見直し、事務効率化

#### ①栃木県道路公社の県受託業務の民間開放

⇒県から公社へ委託していた長大トンネルの管理業務のうち、4トンネルを民間開放【H23】

#### ②（財）栃木県消防協会における指定管理業務の検討

⇒事業の見直しを行い、「栃木県防災館」の指定管理者から撤退【H23】

## 主な実績（続き）

### 事業見直し、事務効率化（続き）

#### ③（福）とちぎ健康福祉協会における高齢者相談事業の見直し

⇒市町社会福祉協議会や法テラス等の相談事業の充実により、高齢者総合相談センター業務を廃止【H23】

#### ④（福）栃木県社会福祉協議会における業務や機能の精選化

⇒国の制度見直し（システムの一元化）に伴い、介護サービス情報公表センターの指定を廃止【H23】

⇒県内のNPO法人等の参入が進んだ福祉サービス第三者評価機関業務を廃止【H23】

#### ⑤（社）栃木県治山林道協会の委託業務の見直し

⇒県が協会へ発注していた全ての委託業務に指名競争入札を導入【H23】

#### ⑥（公財）とちぎ建設技術センターにおける随意契約の見直し

⇒積算業務委託の一部（1,000万円以下）に指名競争入札を導入【H23】

#### ⑦（公財）栃木県民公園福祉協会における協会所有施設のあり方検討

⇒一万人プールを県有化【H23】

#### ⑧（財）栃木県交通安全協会における委託業務の見直し

⇒県委託業務のうち、運転免許窓口業務等7業務について一般競争入札を導入【H23】

## 主な実績（続き）

### 組織・人員のスリム化

#### ①組織のスリム化

《（公財）とちぎ男女共同参画財団》

⇒ 23年4月に開設されたとちぎ男女共同参画センターにDV被害者に対する相談機能を一元化

#### ②人員のスリム化

⇒ 3公社（栃木県土地開発公社、栃木県道路公社、栃木県住宅供給公社）の管理業務の統合（24年4月1日）に伴い、3公社全体の役員、常勤職員数を削減

⇒（財）とちぎ未来づくり財団、（福）とちぎ健康福祉協会、（公財）栃木県産業振興センター、（公財）とちぎ建設技術センター、（公財）栃木県体育協会などの法人において、県派遣職員を削減

⇒（財）栃木県交通安全協会において、正職員から嘱託職員への身分切替えを伴う大幅な人事異動を実施【H23】

### 収入確保等、組織の基盤強化

#### ①（公財）栃木県国際交流協会における自主財源の確保、賛助会員の拡大

⇒英語能力試験協力事業（TOEICテスト）の受託等による自主財源の確保【H22・H23】

⇒賛助会員の拡大（賛助会員数 H21：182→H22：242→H23：311）

#### ②（公財）栃木県暴力追放県民センターにおける賛助会員の拡大

⇒賛助会員数 H21：663→H22：702→H23：704